

3 類型	鋳工業品	通巻番号	6 - 21 - 006
地域資源名	特殊鋼製品	認定日	平成21年9月30日
地 域	島根県大田市	所管省庁	経済産業省

**事業名：製材のコストダウン、製材品の品質を向上させる世界初装着式挿し刃  
帯鋸ビジネスの展開**

会社名：有限会社岩崎目立加工所

所在地：島根県大田市大田町大田  
口204-12

連絡先：TEL：0854-84-7246

FAX：0854-84-7253

H P：http://metate.co.jp/

**事業概要(新たな活用の視点)**

- ・製材機に用いる帯鋸(おびのこ)は、国内外ともに従来溶着ステライト刃(レアメタルを使用したコバルト・タングステン・クロムの合金)が主流であった。
- ・当社は産学官連携による地域資源活用型研究開発事業により、特殊鋼を用いた、世界初の挿し刃装着式帯鋸の開発に成功した。この挿し刃は、異質の特性を有する靱性材と耐摩耗材の金属粉末を2色粉末射出成形技術を用いて製造したものである。
- ・この挿し刃により製材のコストダウン、製材加工品の品質向上が可能となり、これらのメリットを製材工場に訴求していく。

従来の溶着ステライト刃



挿し刃を装着した帯鋸

**売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)**

**競争力**

- ・従来のステライト刃と比べて、耐久性があり、交換・調整回数の削減が可能となる。また加工の品質面として、切削面の毛羽立ちが減少し、表面が滑らかになる。
- ・これまでステライト刃では、研磨作業の難度から目立業者に外注していたものの、本挿し刃は製材工場でも簡単に研磨作業ができるため、外注費用のコストダウンにもつながる。

**市場性**

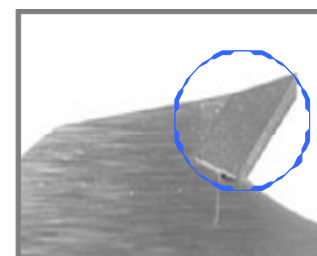
- ・国内の製材業の経営状況は厳しく、約8,000社まで減少している。生き残りをかけて経営改善に取り組む製材業者をターゲットに挿し刃を提案していく。

**販路**

- ・当面は中国5県を中心に、主に直販にて、導入実績を作り、以降、代理店による事業展開をおこなっていく予定である。

**地域資源における関係事業者との連携**

- ・帯鋸に装着する挿し刃の開発は、地域資源活用型研究開発事業に採択され、(株)日立メタルプレジジョン、(株)野原熱錬工作所、島根大学、島根県産業技術センター、しまね産業振興財団と共同事業として進めてきた。今後、更なる品質向上・量産化に向けて引き続き連携を強化していく。



2色粉末射出成形技術  
による挿し刃

